



GLORY

GLORY REPORT

グローリーレポート

グローリー株式会社

第 **77** 期
中間報告書

.....
2022年4月1日から
2022年9月30日まで

TOP MESSAGE

コア事業と新領域事業の
クロス成長を通じて、
持続的な企業価値の向上を
実現してまいります

代表取締役社長

三和元純



2023年3月期上半期の経営環境と業績

当上半期の連結業績は、2021年12月に買収した Revolution Retail Systems, LLC(以下、Revolution社)を連結の範囲に含めたことや円安により、前年同期に比べ増収となりました。一方、利益につきましては、半導体等の部品調達難に伴う生産影響による主要製品の販売延伸に加え、部材価格の高騰や物流コストの上昇により損失を計上いたしました。

海外市場では、生産影響により金融市場及び流通市場における一部の主要製品の販売が延伸いたしましたが、

セルフサービスキオスク関連事業を展開するAcrelec Group S.A.S.の売上増加やRevolution社の連結組入れ及び円安により前年同期に比べ増収となりました。

国内市場では、金融市場及び流通・交通市場ともに生産影響による主要製品の販売延伸や、新500円硬貨発行に伴う改造作業の一巡により売上は減少いたしました。一方、製品・サービスの需要につきましては堅調であり、特に流通・交通市場における、人手不足対応やコンタクトレス・セルフ化ニーズを捉えたセルフ型レジつり銭機の需要は底堅く、売上は前年同期並みの高水準を維持いたしました。

『2023中期経営計画』の進捗状況

コア事業

流通市場では、国内外ともにセルフ型レジつり銭機の導入が拡大しており、特に販売拡大が期待できる海外の流通店舗向けに、現金管理ソリューションCASHINFINITY™の新モデル「CI-Xシリーズ」を本年9月に発売いたしました。大きさや厚み、材質、形状の異なる60ヶ国以上の硬貨が取扱可能となり、これまで硬貨部の対応が難しかったスイス、オーストラリア、メキシコ等に向けて本ソリューションの販売を加速してまいります。

また、2024年度上半期に予定される新紙幣発行につきまして、更新需要の獲得と円滑な改造作業の実施に向けて対応を進めております。

新領域事業

海外市場では、小売・飲食事業者の売上金入金代行サービスを展開するカナダのClip Money社に新たに出資いたしました。同様に投資先である、英国で金融支店業務のシェアードサービスを提供するOneBanx社とともに、金融サービスのインフラを共有して提供するシェアードサービス事業の拡大を図ってまいります。

国内市場では、多様化する飲食店の店舗運営及び決済手段に対応したセルフオーダーKIOSK「FGKシリーズ」の販売を開始いたしました。資本業務提携を行うShowcase Gig社の提供するモバイルオーダー等の注文システムや当

社グループのデータ活用サービス「BUYZO」を活用し、注文、決済、受取までを効率化する飲食店のDX推進支援を行ってまいります。

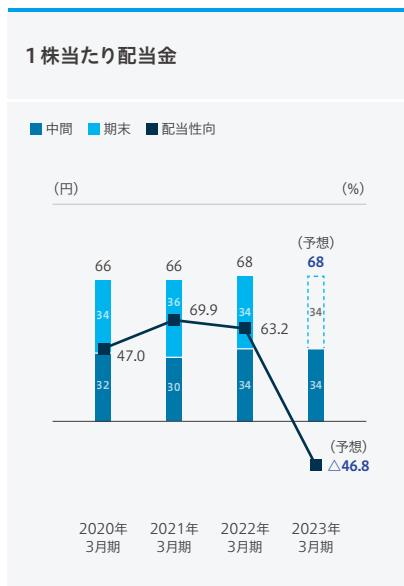
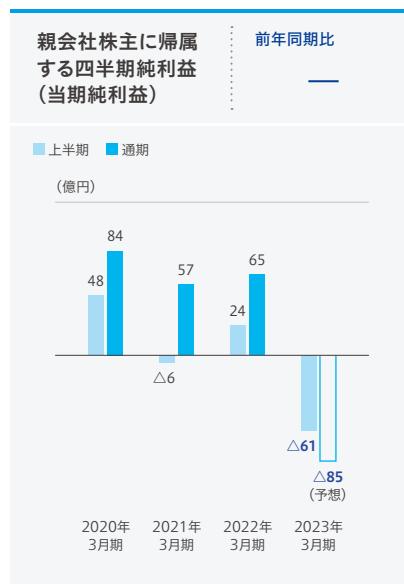
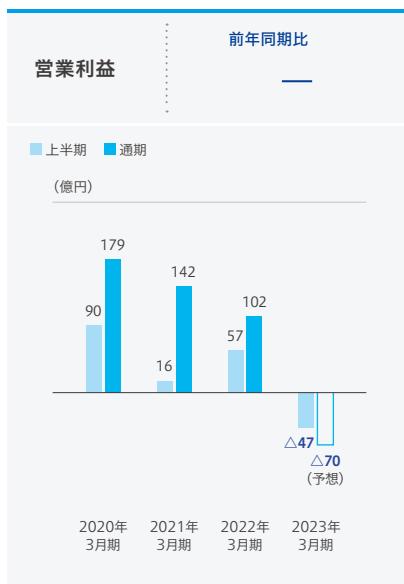
当期の事業環境と業績見通し

部品調達難に伴う生産影響は、下半期から徐々に緩和すると予想しておりましたが、部品の安定的な調達確保には、なお時間を要する見通しで、主要製品の一部で生産の回復に遅れが生じる見込みです。通期業績予想につきましては、円安による売上増を見込む一方、利益面では生産影響や部材価格高騰により厳しい状況が継続する見通しであるため、当初予想を修正し、売上高2,500億円、営業損失70億円、経常損失75億円、親会社株主に帰属する当期純損失85億円といたしました。

コンタクトレス・セルフ化ニーズは今後も継続すると予想され、国内外における金融市場及び流通市場向けセルフ型製品・サービスの需要は堅調に推移すると見込んでおります。半導体等の部品調達難や部材価格の高騰は、当事業年度中は続くと予想しておりますが、代替部品への設計変更やサプライチェーンの見直しにより生産影響を最小限に抑えるとともに、価格改定に向けた取組みをさらに進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針としております。『2023中期経営計画』期間(2022年3月期から2024年3月期)の3事業年度につきましては、上記基本方針を維持しつつ、具体的目標値を、当該3期間における“3期平均のれん償却前連結配当性向の30%以上”としております。

本方針に基づき、中間配当につきましては、1株につき34円とさせていただきます。期末配当につきましても、34円(年間68円)を予定しております。また、2022年5月13日より、500万株(または100億円)を上限とする自己株式の取得を行っております。

TOPICS

2022年
4月

廉価版鍵管理機「Keyリリーフ」が登場

鍵管理の基本機能に特化し、コストを抑えた鍵管理機「Keyリリーフ」を発売しました。「どの鍵を」「誰が」「いつ」持出し・返却したかを自動記録することができるため、鍵の厳正な管理が可能です。

世界的ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russell社より、ESG（環境・社会・ガバナンス）について優れた対応を行っている企業として当該構成銘柄に選定されました。



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

5月

カナダClip Money社の株式を取得

北米において小売・飲食事業者の売上入金金の代行サービスを展開するカナダのClip Money Inc.に出資しました。同社のサービスを、当社の金融機関向けソリューションのラインアップに加えることで、シェアードサービス事業の拡大を図ります。

7月

エコナビスタ株式会社と資本業務提携契約を締結

SaaS型高齢者施設見守りシステム「ライフリズムナビ® +Dr.」を提供するエコナビスタ株式会社と資本業務提携契約を締結しました。

Focus2
新領域事業 P6



各トピックスの詳細は、
公式ウェブサイト「最新情報」をご覧ください。

<https://www.glory.co.jp/news/>

9月

海外流通店舗向け 現金管理ソリューション CASHINFINITY™の 新モデル「CI-Xシリーズ」を発売

Focus1
コア事業 P5

現金管理ソリューションCASHINFINITY™の新モデル「CI-Xシリーズ」を発売しました。流通店舗内の現金管理をさらに厳正化するとともに、キャッシュアウトサービスにも対応し、買い物客の利便性向上にも寄与します。



新モデル「CI-Xシリーズ」

10月

セルフオーダーKIOSK 「FGKシリーズ」を発売

多様化する飲食店の店舗運営及び決済手段に対応したセルフオーダーKIOSK「FGKシリーズ」を、アクレック社と共同開発し、発売しました。



セルフオーダーKIOSK
「FGKシリーズ」

発行のお知らせ



「グローバル統合レポート 2022」を発行

特集として、イノベーションを支える人的資本・知的資本の強化をご紹介しますほか、当社初の外国人社外取締役のインタビューなどを掲載しています。

特集

「2023中期経営計画」では、“コア事業と新領域事業のクロス成長”をコンセプトに、企業価値向上に取り組んでいます。



FOCUS 01 コア事業

北米バックオフィス向け 現金管理ソリューション分野のマーケットリーダーを グループに加え、米国流通市場でのさらなる販売拡大を目指す

海外の流通店舗では、現金管理の厳正化や店舗運営の効率化を目的に、レジつり銭機やバックオフィス向け通貨処理機（以下、リサイクラー）の導入が進んでおり、なかでも米国は、その設置台数の拡大が大きく見込まれる市場です。

2021年に買収したRevolution Retail Systems, LLCは、北米流通市場において、大手リテーラーをはじめとする強固な顧客基

盤と24時間365日対応するサービスネットワークを有するバックオフィス向け現金管理ソリューションのプロバイダーです。両社グループが保有する顧客基盤を最大限に活用し、レジつり銭機等を用いたフロントソリューションや、リサイクラーを活用したバックオフィスソリューションを双方のお客さまに提案し、米国流通市場におけるさらなる販売拡大を目指してまいります。

トータルソリューションイメージ



バックオフィスソリューション

フロントソリューション

流通店舗向け現金管理ソリューションの新モデル 「CI-Xシリーズ」を2022年9月より発売

新モデルでは、紙幣・硬貨のカセットインターフェース対応により、現金に直接手を触れることのないフロントとバックオフィス間の現金装填・回収を可能にしました。さらに、60ヶ国以上の通貨に対応することで、多国展開するグローバルリテーラーの店舗運営の効率化にも貢献します。



レジつり銭機 (CI-10X)

FOCUS 02

新領域事業

認識・識別技術を応用し、ヘルスケア分野における社会課題解決に貢献



当社は、通貨処理機の開発で培った認識・識別技術を「顔認証技術」に応用し、さらに人の姿勢・動作を検知する「骨格認識技術」へと発展させました。この技術とAIを活用した「転倒検知システム」を、エコナビスタ株式会社が提供するSaaS型高齢者施設見守りシステム「ライフリズムナビ®+Dr.」に組み込み、2023年3月期中の商用化を目指しています。エコナビスタ社とは、2022年

7月に資本業務提携契約を締結しており、同社との強固なパートナー関係の下、高齢者の増加に伴い成長が見込まれるヘルスケア分野での事業拡大を図ってまいります。

居室内での転倒を検知し、転倒事故を早期に発見

「転倒検知システム」は、赤外線3次元センサにより読み取った人の姿勢をAIが「転倒」と判断すると、介護スタッフに通知するシステムです。高齢者施設での事故の約6割を占める「転倒」を即座に検知・通知するため、入居者は早期にケアを受けることができます。また、「転倒」だけではなく、「起き上がり、境界位、離床、ずり落ち、横たわり」を含めた6動作を検知するため、介護が必要なタイミングを適切に捉えることができ、介護スタッフの負担軽減にも貢献します。



検知対象動作



床での転倒



床での横たわり



ベッドからの起き上がり



境界位(端坐位)での動き



ベッドからのずり落ち



離床

ライフリズムナビ®+Dr.
LIFE RHYTHM NAVI PLUS DOCTOR



前後動画

入居者の
状況確認

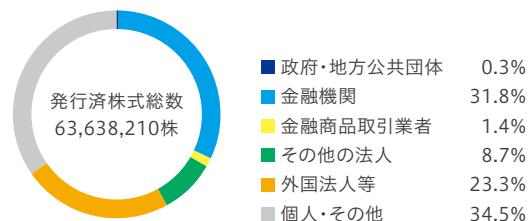
正確で
スピーディーな
対応が可能

会社情報・株式情報 (2022年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 6,291,973株を含む)	63,638,210株
株主数	11,624名(前期末比 190名減)

所有者別株式分布状況



会社概要

商号	グローリー株式会社	
設立	昭和19年(1944年)11月27日	
資本金	12,892,947,600円	
従業員数	3,557名(連結10,820名)	
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)	
事業所等	本社・本社工場、東京本部、品川事業所、 埼玉工場、姫路物流センター、他支店等106拠点 グループ会社96社(うち海外80社)	
役員一覧	代表取締役会長	尾上 広和
	代表取締役社長	三和 元純
	取締役	尾上 英雄
	取締役	小谷 要
	取締役	原田 明浩
	取締役	藤田 知子
	社外取締役	井城 讓治
	社外取締役	内田 純司
	社外取締役	イアン・ジョーダン
	取締役(常勤監査等委員)	藤田 亨
	社外取締役(監査等委員)	濱田 聡
	社外取締役(監査等委員)	加藤 恵一

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,208	12.9
日本生命保険相互会社	3,427	5.4
グローリーグループ社員持株会	2,798	4.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,162	3.4
株式会社三井住友銀行	1,600	2.5
タツボーファッション株式会社	1,500	2.4
グローリー取引先持株会	1,215	1.9
株式会社三菱UFJ銀行	879	1.4
龍田紡績株式会社	726	1.1
GOVERNMENT OF NORWAY	717	1.1

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式6,291,973株があります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。 [公告掲載URL] https://www.glory.co.jp
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(各種お問合せ先/ 郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

